

DEXON® Systems

DXN-5000 DXWall®

ビデオウォールコントローラ

Quick start guide Ver.1.1.1


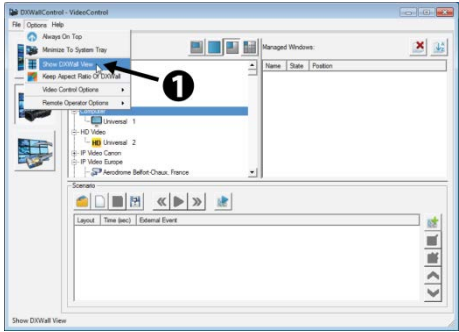
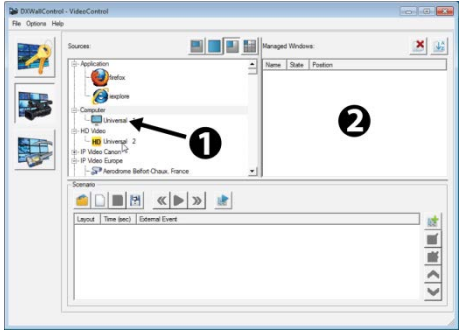
この度は、ビデオウォールコントローラ「DXN-5000 DXWall」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本製品の性能を十分に引き出してご活用いただくために、ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をお読みください。

また、お読みになった後は、本製品近くの見やすい場所に保管してください。

1 クイックステップガイド

1.1 ビデオウィンドウのクイックステップガイド

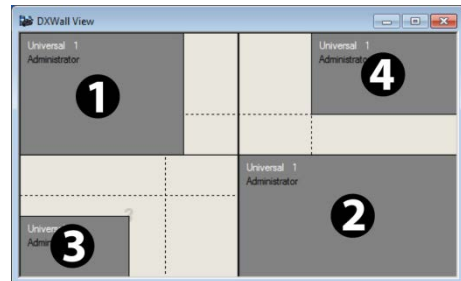
<p>ステップ1.</p> <p>VideoControl (1)ボタンをクリックしてください。3つのメインのエリアがあり、それぞれ「ソース」(Sources)、「アクティブウィンドウ」(Managed Windows)および「シナリオ」(Scenario)とタイトルが付けられています。</p>	
<p>ステップ2.</p> <p>「オプション」(Options) - 「DXWall 表示」(Show DXWall View) (1)を開いて、ご利用になれるスクリーンの DXWall View 描画領域がみられるようにします。入力ソースのドラッグアンドドロップ機能を有効に利用することができるように、DXWall View と DXWall 表示は隣同士に配置すると便利です。</p>	
<p>ステップ3.</p> <p>表示したい入力ソースは、ご希望のポジションに配置します。</p> <p>入力ソース(1)のタイトルをダブルクリックすると、そのウィンドウをウォール上で DXWallConfig セットアッププログラムによって指定されたデフォルトのサイズとデフォルトのポジションで開くことができます。以下の2種類の操作で表示が可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 入力ソースを、ウォール上のアクティブウィンドウエリア(2)にドラッグアンドドロップする。 ▪ ご希望の入力ソースを DXWall 表示のキャンバスで選択したスクリーンにドラッグアンドドロップする。 	

ステップ4.

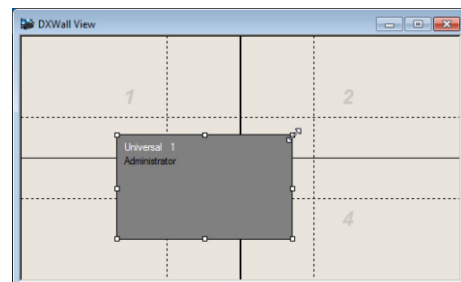
ドラッグアンドドロップモードを利用するにあたって、4つのボタンを使うとビデオを既定のサイズで開くことができます。

- デフォルトサイズモード(Default Size Mode) (1): ウィンドウはデフォルトのサイズとレシオで開かれます。
- スクリーンサイズモード (Screen Size Mode) (2): ウィンドウはドロップ先のスクリーンサイズいっぱいになります。
- スクリーンサイズの1/4モード(Quarter of Screen Size Mode) (3): このオプションを使うと、各スクリーンに4つの入カソースを配置することができます。
- グリッド整列モード(Grid Aligned Mode) (4): 水平(Horizontal)と垂直 (Vertical) を、「オプション」(Options) – 「ビデオコントロールのオプション」(Video Control Options) – 「グリッド」(Grid)を選択してから設定します。4x4 は 2x2 設定での Quarter of Screen Size Mode に相当し、1x1 はフルウォールサイズに相当します。この例では、3x3 のグリッドが使用されています。

「すべて終了」(Close All (5))を使うとシステムに対して、開いているウィンドウをすべて閉じるよう指示することができます。「並べ替え」(Enable Shorting (6))をオンにすると、表示されているウィンドウはタイトル順で指示することができます。

**ステップ5.**

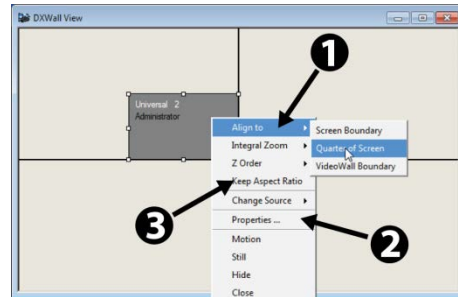
DXWall 表示パネル状のビデオパネルにある灰色の長方形をクリックすると、ウィンドウはアクティブになります。またコーナー近くにある白い四角形をドラッグして動かすとウィンドウのサイズを変更することができるようになります。



ステップ6.

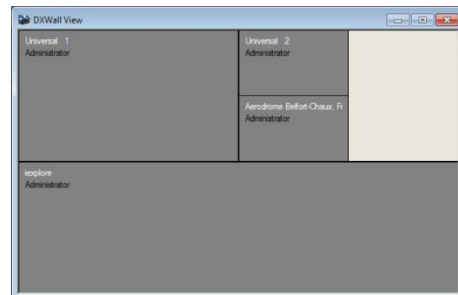
DXWall 表示上で入力ウィンドウを手動でドラッグして移動すると、各入力ウィンドウはご希望の場所に配置することができます。正確にサイズ変更したい場合には、マウスの右側のボタンでグレーの長方形をクリックして、「配置」(Align to) (1)メニューのアイテムを選択してください。右クリックのメニューにある「プロパティ」(Properties) (2)には、調整可能なサイズやポジションが多数あります。

「アスペクト比保持」(Keep Aspect Ratio) (3)をオンにすると、画像が持っているオリジナルの縦/横の比率を保持することができます。



ステップ7.

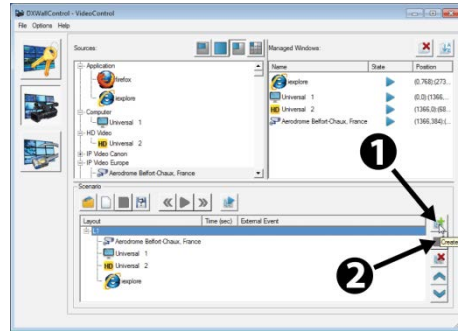
ウォール上では、複数の異なるウィンドウを表示することができます。この例では、Internet Explorer の映像と PC 及 HD ビデオ (Universal 入力)、IP ビデオカメラが入力されています。DXWall View 上で、それらのレイアウトが表示されます。



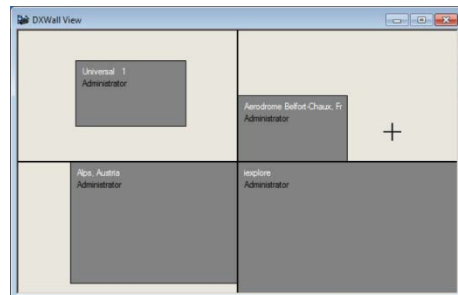
1.2 シナリオを操作のクイックステップマニュアル

ステップ1.

ウォール上のウィンドウのレイアウトをデザインしてから、「新規ステップの作成する」(Create Step)ボタン(1)をクリックすると、シナリオステップを作成することができます。ウォールの現在のレイアウトは、プログラムによって保存されています。いずれのレイアウトに対しても、タイトルフィールドの上をクリックすると、新しい名前を付けることが可能です。(Enter キーで閉じることが可能です。) レイアウトを後に修正しても、保存されているシナリオが変更されてしまうことはありません。「ステップの修正する」(Modify Step) (2)のボタンを押せば保存され完了となります。

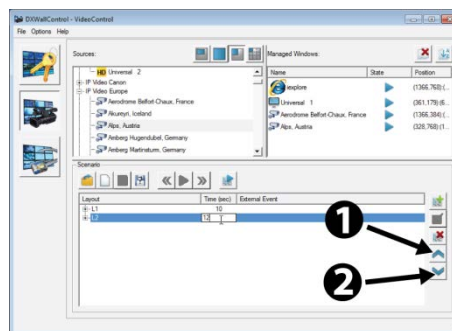
**ステップ2.**

入力ソースは、自由に開いたり閉じたりサイズ変更したりすることで新しいレイアウトを決定することができます。「新規ステップの作成する」ボタンを押せば、システムは現在表示されているレイアウトを新しいシナリオステップに保存します。保存されたステップは、「シナリオ」(Scenario)エリアに掲載されます。このシナリオステップのセットは、のちにシナリオファイルにセーブすることができます。



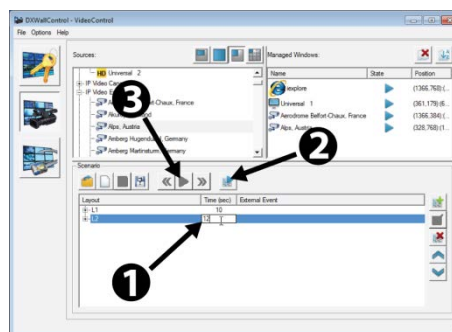
ステップ3.

シナリオエリアに保存されたシナリオはどれでも、そのレイアウトのタイトルフィールドの上をクリックすればすぐに表示されます。現在のシナリオに修正点があれば、レイアウトを再設定することができます。そのためには、「上へ移動」(Move Up) (1)と「下へ移動」(Move Down) (2)のボタンを押してください。

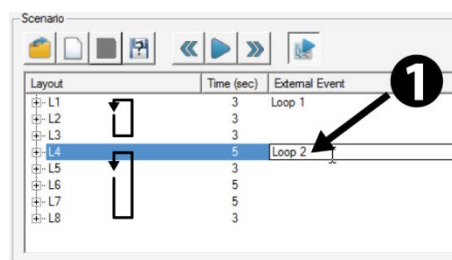
**ステップ4.**

シナリオステップを、順序通りに時間を設定して表示することができます。各ステップの「タイム(秒)」(Time (sec)) (1)エリアで各レイアウトの持続時間を設定してください。確認するには Enter キーを押してください。

「シナリオの実行」(Enable Scenario Execution) (2)ボタンと「自動再生」(Auto Play) (3)ボタンを押して、再生を開始してください。レイアウトのディスプレイは、自動的にループされます。そのため最後に作られた保存されたステップが開かれた後は、システムは最初のラインにジャンプバックします。

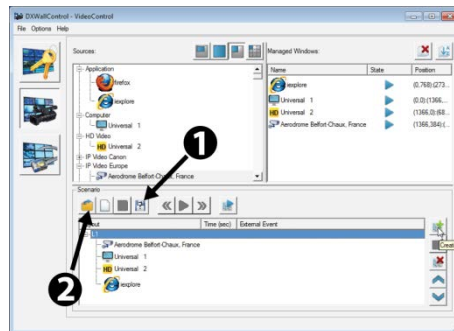
**ステップ5.**

ループの設定は複数行うことができます。「外部イベント」(External Event) コラムのセル(1)をクリックして作成したループヘッダに名前を加えることができます。システムは、次のループヘッダ(次回がある場合のみ)直前の最後のシナリオステップに到達するまで、シナリオステップの表示を続けます。その後は、前のループヘッダに戻ります。自動再生は手動で停止することができます。



ステップ6.

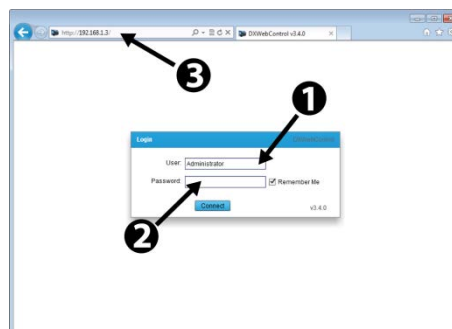
作成したシナリオは、「名前を付けて保存」(Save Scenario As)ボタン(1)で保存してください。次回、「シナリオを開く」(Open Scenario) (2)ボタンを押すことによってインポートすることができます。



1.3 DXWebControl シナリオのクイックステップガイド

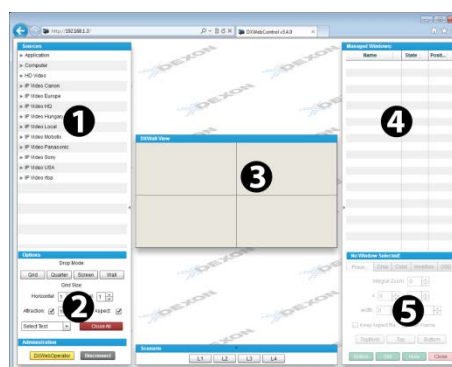
ステップ1.

最新のウェブブラウザを開いて、DXWallServer にアドミニストレータから付与されたネットワーク上の DXWall Controller のユーザネーム(1)、パスワード(2)およびホストネーム(3)で接続してください。Adobe Flash Player がコンピュータにインストールされていることをご確認ください。デフォルトのユーザーは Administrator でパスワードは空白です。パスワードはのちに変更可能です。



ステップ2.

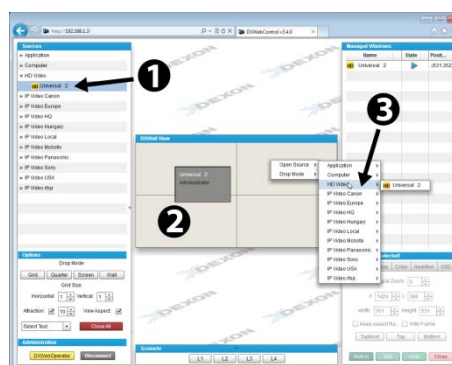
ログイン後には、「入カソース」(Sources) (1)、「オプション」(Options) (2)、DXWall View (3)、「表示されているウィンドウ」(Managed Windows) (4)および「プロパティ」(Property) (5)という5つのパネルが表示されます。「プロパティ」(Property)エリアは、入カソースをDXWall View パネルで選択しないと、使用できません。



ステップ3.

入カソースをウォール上で表示するには、以下のようにしてください。:

- タイトルをダブルクリックしてください (1)。または、
- タイトルをソースパネルでドラッグして、DXWall View にドロップしてください。 (2)
- あるいは DXWall View パネルの空白エリアを右クリックして「入カソースを開く」(Open Source)メニューのアイテムを選択してください。 (3)

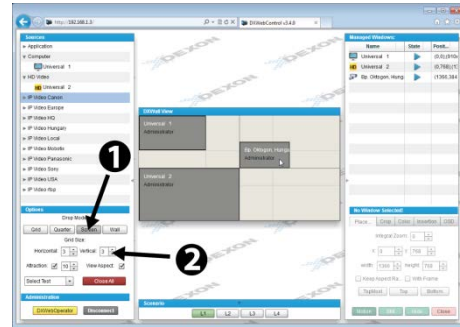


ステップ4.

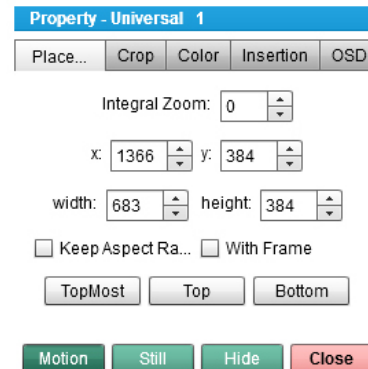
ドラッグアンドドロップモードをご利用になる前に、「グリッド」(Grid), 「1/4」(Quarter), 「スクリーン」(Screen)または「ウォール」(Wall)ボタンを選択してください(1)。開くビデオウィンドウのサイズをあらかじめ設定することができます。選択したソースウィンドウの上で右クリックして「整列」(Align to)メニューアイテムを選択してください。または、コーナーにある白い四角形をドラッグすることによってウィンドウサイズを変更することができます。

必要があれば、アクティブなウィンドウを、マウスの左のボタンでドラッグしてご希望のポジションに移動すると、ポジションを変更することができます。

ここで設定されている「グリッドサイズ」(Grid Size) 3x3 です。 (2)

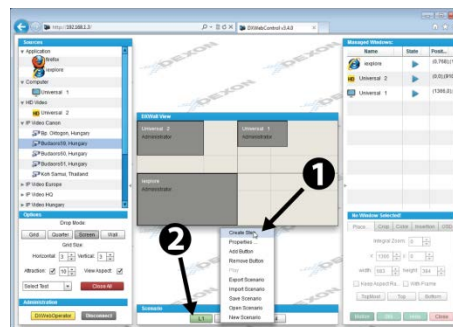
**ステップ5.**

グレーの長方形の上をクリックしてアクティブ化してから、ウィンドウをドラッグして移動させ、サイズ変更をすることによって、ウォール上でのウィンドウの理想のポジションを見つけることができます。プロパティフィールドの「場所」(Place)、「クランプ」(Crop)、「インサージョン(挿入)」(Insertion)およびOSD タブを使用すると、他にも多くのプロパティを調整することができます。

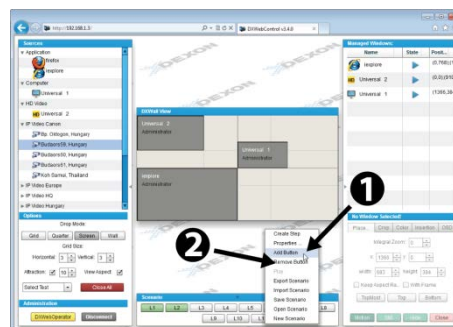


ステップ6.

ウィンドウのレイアウトをデザインしたら、シナリオステップに保存してください。「シナリオ」(Scenario)パネルのいずれかのボタンを、マウスの右のボタンでクリックして、「ステップを作成」(Create Step) (1)を選択してください。入力ソースのサイズやポジションをそのあとに修正しても、ストアされたものは修正されません。ストアされているステップを変更するには、そのボタンを右クリックして「ステップを作成」(Create Step)を再び選択してください。背景色が異なるので、ステップがボタンに属していることがわかります。(2)この色は、右マウスクリックメニューの「プロパティ」(Properties)のアイテムを使うことによって、変更することができます。

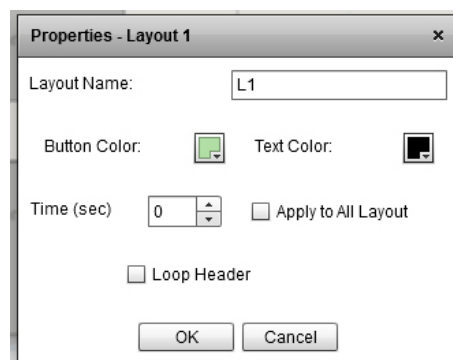
**ステップ7.**

より多くのレイアウトを作成してそれらを異なるボタンに割り当ててください。新しいボタンが必要になった場合には、右マウスクリックメニューから「ボタンを追加」(Add Button)を選択すると、新しいボタンを追加することができます(1)。また削除するには、「削除する」(Remove)を選択してください(2)。

**ステップ8.**

「シナリオ」(Scenario)パネルのボタンをクリックすると、レイアウトは手動で変更することができます。シナリオステップを自動管理したい場合には、各ボタンの右クリックメニューにある「プロパティ」(Properties)を選択して、持続時間を指定してください。

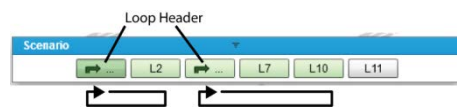
「ループヘッダ」(Loop Header)のチェックボックスをオンすると、選択したステップをラインの最初にすることができます。



右クリックメニューの「再生」(Play)をクリック後、いずれかのボタンのシステムがレイアウトを自動で順次表示し続けます。ステップの再生は「ループヘッダ」(Loop Header)から次の「ループヘッダ」(Loop Header)ボタンに到達するまで行われます。次の「ループヘッダ」ボタン到達後は、前のレイアウトに戻ってこの手順を再び開始します。

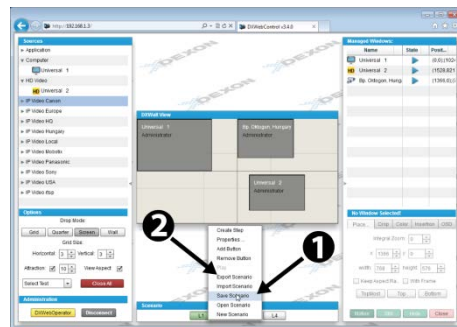
ステップ9.

ループ間の切り替えは手動で行うことができます。



ステップ10.

シナリオファイルは、ローカルにセーブすると便利です。「シナリオ」(Scenario)パネルのいずれかのボタンをクリックして「セーブ」(Save) (1)メニューのアイテムを選択してください。シナリオファイルは、「エクスポート」(Export) (2)メニューのアイテムを選択すれば、DXWall サーバにセーブすることができます。





株式会社アルバニクス

TEL (046)259-6920 FAX (046)259-6930

月曜～金曜 AM9:00 ～ PM5:00

〒242-0021 神奈川県大和市中央7-9-1-1F

<http://www.arvanics.com/>

発行日 2019年6月19日 Ver.1.1.1

* 本書は改善の為、事前の予告無く変更することがあります。

* 本書の無断転載を禁じます。